

会議録署名議員には、１０番、和泉克彦議員、１８番、田原 実議員を指名いたします。

日程第２．一般質問

○議長（保坂 悟君）

日程第２、一般質問を行います。

昨日に引き続き、通告順に発言を許します。

東野恭行議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。〔９番 東野恭行君登壇〕

○９番（東野恭行君）

おはようございます。みらい創造クラブの東野恭行でございます。

発言通告書にのっとり、１回目の質問をさせていただきます。

１、糸魚川市における下水道管の老朽化による道路陥没の危険性について。

２０２５年（令和７年）１月２８日、埼玉県八潮市の中央１丁目交差点で大規模な陥没事故が発生しました。道路が陥没してしまった原因は、呼び径４．７５メートルの下水道管（中川流域下水道中央幹線）の破損と見られる。陥没に伴う雨水管の崩壊で、川の水が逆流したことが重なって、新たな陥没が現場付近に生じる事態となった結果、運転手の救助が難航している。

国土交通省の資料によると、２０２２年度末における全国の下水道管路の総延長は、約４９万キロメートル。そのうち標準耐用年数である５０年を経過した管路は総延長の約７％（約３万キロメートル）に及ぶ。さらに１０年後には約１９％（約９万キロメートル）、２０年後には約４０％（約２０万キロメートル）に急増するとしている。

このことから、糸魚川市においても、経年により下水道管や雨水管の老朽化は進み、地面が陥没する事故発生の危険性があると考え、以下の質問をいたします。

（１）令和７年１月２８日、埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故の原因を分析しているか伺います。

（２）糸魚川市における地中に埋設されている下水道管の総延長はどのくらいあり、経年により点検や整備が必要な下水道管はどのくらいの距離、総延長があると試算しているか伺います。

（３）糸魚川市においても、下水道管や雨水管の老朽化により、埼玉県八潮市のような重大事故が発生する可能性があるとお考えか伺います。

（４）ガス・水道・下水道の事業が民間事業者に移行した場合、今回の八潮市のような事故における管理や修繕など、責任の所在はどうなっていくのか伺います。

２、（仮称）駅北子育て支援複合施設整備の計画期間の延長について。

（１）平成２９年８月、糸魚川市駅北復興まちづくり計画が施行され、キターレが建設され、本町通りや駅周辺で民間事業者が活躍されているが、駅周辺の労働者の人口の推移はどのように変化しているのか伺います。

（２）令和７年２月５日の総務文教常任委員会において、米田市長より計画期間の延長を検討し

たいと報告があったが、国が計画の延長を認められないと判断したときは、実質、事業実施は困難であるのか伺います。

(3) (仮称) 駅北子育て支援複合施設整備の計画が進められず、完全に中止となった場合、新たな計画を起こし、まちづくりに有効な補助金(都市構造再編集集中支援事業補助金)を活用するためには、再度、国と折衝する必要があると思うが、新たな計画から施工を実施するために要する年月は、どの程度かかると推測するか伺います。

(4) 公共施設は、建設するまでの間に条例が制定され则认为るが、少子化の時代背景や人口減少の状況に応じ「用途変更」などによる条例の変更は可能であるのか伺います。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長(保坂 悟君)

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長(米田 徹君)

おはようございます。

東野議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、コンクリート管が腐食し、破損したことで陥没が発生したと聞いております。

2点目につきましては、公共下水道管の延長は約330キロメートルであります。標準耐用年数である50年を超えるものではありませんが、元年度から点検を進めております。

3点目につきましては、事故防止のため、巡視・点検を行ってまいります。

4点目につきましては、ガス事業は譲渡であるため、事業実施主体の官民共同出資会社が責任を負い、上下水道事業は包括委託であるため、実施主体の市が責任を負うこととなっております。

2番目の1点目につきましては、進出したIT企業等により、労働者の増加がある一方、飲食店等の廃業による減少があるものと捉えております。

2点目につきましては、国との事前協議では、期間延長等の内諾をいただいているところであり、今後、事務的な手続を進めてまいります。

3点目につきましては、明確な期間をお答えすることはできませんが、計画の必要性の議論から始まり、実施するまでには相当な期間が必要であると考えております。

4点目につきましては、施設の利用状況などを踏まえ、将来的に目的を変更する必要がある場合には、条例改正は可能であると考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長(保坂 悟君)

東野議員。

○9番(東野恭行君)

それでは、2回目の質問をさせていただきたいと思います。

それでは、1番の(1)道路陥没事故の原因を分析しているかの再質問をさせていただきます。

道路が陥没してしまった原因が、呼び径4.75メートルもある下水道管の破損により、大きな事故につながったと伝えられておりますが、八潮市のように呼び径が大きな下水道管は、糸魚川市のような地方にも存在しているのか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山口ガス水道局長。〔ガス水道局長 山口和美君登壇〕

○ガス水道局長（山口和美君）

おはようございます。

まず、八潮市で破損した下水道管につきましては、複数の市町が絡んでおります流域下水道でございます。その関係上、複数の市町の汚水を1つの処理場で処理するための幹線であるということから、特に破損した箇所が処理場に近い場所であったため、大きな口径となっている場所だと考えております。それに対応しまして、うちの市の状況なんですけども、公共下水道4つの処理区の人口、糸魚川市の場合、合わせましても5年度末で約3万4,000人程度の規模でございます。そのため管の直径につきましては、最大で約1メートル程度でございます。事故のあった規模の汚水管につきましては、糸魚川市においてはございません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

糸魚川市においては1メートル程度ということで、そういった意味でも、あのような大きい事故につながらないのかなというふうに少し安堵しました。

糸魚川市も、八潮市の事故原因について分析していただいているようですが、2022年には国交省の調査で道路陥没の事故が全国で2,600件ほどあり、6割ほどが都心で起きているとのことであります。腐食のおそれの大きい下水道管については、5年に一度の点検が下水道法で義務づけられているそうなんですけど、地方においても、この点検の頻度は5年ごとにしっかり実施されているのか、お伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山口ガス水道局長。〔ガス水道局長 山口和美君登壇〕

○ガス水道局長（山口和美君）

点検についてお答えさせていただきますが、マンホールポンプとかの吐き出し口などになるんですけども、その段差や落差等の関係で、汚水の流れが乱れることによりまして、硫化水素といひますか腐食を促進する物質がそこで発生するおそれがございます。それは、特にコンクリート管についての腐食を進めるものでございまして、そういった環境のところにつきまして、下水道法の施行令で5年に1回以上の点検を行うこととされておりまして、それに合わせまして点検のほうは実施しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

5年ごとにしっかり点検は行われているということで、安心しました。点検をしっかりされているとのことですが、目視などができない地中などは、どのように点検を行っているのか伺いたと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山口ガス水道局長。〔ガス水道局長 山口和美君登壇〕

○ガス水道局長（山口和美君）

点検の方法ということになるかと思うんですが、まず、点検の方法、マンホールの蓋をまず開けて、管口といいますか流れる污水管のところの口のほうからカメラを入れて、異常がないかを確認いたします。ただ、そのカメラにつきましては、入れた場所から10から15メートル程度のところまでが見えるようなカメラになっております。そこで、上下のマンホール2つあることになるんですけども、それぞれ10から15メートルずつということで、カメラを見てみまして、そこで異常があれば詳細に調査を行うということで、自走式のテレビカメラを入れまして、調査を行っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

八潮市は、2020年8月にレーダーによる調査で小規模の空洞を発見し、2021年4月に空洞を埋めるための対応をしていたが、2025年1月に報道の重大事故が発生しております。5年以内の頻度で事故が発生してしまっていることになってしまいますが、ただ、その空洞を埋めることが根本の解決に至らないことの表れだと感じておりますが、糸魚川市もそのレーダーによる地中の調査などは実際行っているのか、その際、空洞があれば、それをただ埋めるだけの対応にとどまっているのか、お伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山口ガス水道局長。〔ガス水道局長 山口和美君登壇〕

○ガス水道局長（山口和美君）

市としまして、レーダーの探査・調査につきましては行っておりません。お試しで、ちょっと少しやったという経過があったようなんですが、本格的に委託として出すレーダー調査のほうは行っておりません。

ただ、路面のほうの変化等を見まして、空洞が発見された場合につきましては、開削しまして、空洞の埋め戻しを行います。またそれとともに、近隣のマンホールを開けて、土砂の流入とか閉塞とかで汚水が流れなくなっていないかの確認を行っていくこととなります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

空洞ができる理由については、様々な要因が考えられると思います。

しかしながら、繰り返し同じ陥没が同じ場所でできることにつきましては、細心の注意を払っていただき、大きな事故につながらないように要望していただきたい、このように思います。よろしくお願いします。

それでは、（2）番、点検や整備が必要な下水道管がどのぐらいの距離があってという、この再質問でございます。

先ほど数字を聞いてびっくりしたんでございますが、総延長が、糸魚川市でおよそ330キロメートルあるとのことですが、地中に埋設されている下水道管や雨水管については、どのような管理体制にあるのか。地域の事業者と情報共有の下、管理されているのか再度伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山口ガス水道局長。〔ガス水道局長 山口和美君登壇〕

○ガス水道局長（山口和美君）

まず、330キロといいますのが総延長ということで、基幹管路と言われる大きい管と、それに付随する枝管と申してるんですが、細い管を合わせまして約330キロということになっております。

下水道管につきましては、市の施設でございますので点検調査も行っておるんですが、先ほど言いました5年に1回というのが、硫化水素等が発生しやすく腐食のおそれが高い環境のもののところが、5年に1回でございます。それ以外のところにつきましては、一般的な環境下のところは10年に1回ということで、管口カメラ、さきに言いましたマンホールを開けまして、見るカメラですね、そちらのほうで点検を行っております。

また、異常がある場合、先ほど申しましたテレビカメラを入れまして調査を行っておりますし、また、道路管理者等から沈下や陥没などの情報があれば、随時対応をしているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

先ほど1回目の答弁でもお答えいただいたんですが、下水道管や雨水管などの耐用年数は、基本何年間とされているのか。下水道管同様、水道やガスなどのインフラも耐用年数は同様にその程度なのか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山口ガス水道局長。〔ガス水道局長 山口和美君登壇〕

○ガス水道局長（山口和美君）

まず、耐用年数なんですが、法定耐用年数ということで、地方公営企業法施行規則の法定耐用年数になるんですけども、こちら下水道管が５０年、上水道管は４０年、ガス管は１３年となっております。

ただ、この規則による耐用年数というのが、固定資産として使える年数ということもあるんですが、財務的に減価償却を計算する上での年数でございます。いずれにしましても埋設状況とか管の種別によりまして、条件等により耐用年数を超えたからといって、すぐ破損したり壊れたりということではないと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○９番（東野恭行君）

今いただいた耐用年数が来たからといって、すぐ交換の時期が来るわけじゃないという説明で納得できたんですけども、ちょっと懸念したことが、下水道の５年間の５年ごとの点検を経て、いよいよ総延長３３０キロの更新時期が来た場合、本当費用で考えると莫大な費用になるのかなというふうに考えられるんですけども、そういったときに可能性として受益者に負担がかかることってあるんでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山口ガス水道局長。〔ガス水道局長 山口和美君登壇〕

○ガス水道局長（山口和美君）

先ほど答弁させていただいたんですが、５年ごと１０年ごとということで点検を行っておりますが、その点検調査によって劣化が見つかった場合、更新計画を立てる中で、国の補助をできるだけ入れるような形で更新を行うということで今取り組んでおります。先ほど申しましたように、耐用年数が来たから一斉に変えるということではございませんので、少しでも修繕等をして延命を図る中で更新計画を立てていくことになるんですが、どうしましても上下水道になるんですけども、今取り巻く環境というのが地震対応であったり老朽化対応ということで、これも今後、必要性というのはかなり高まってくるかと思えます。ただ、そのサービスを維持するためには、それ相応の費用がかかってまいると考えておりますので、皆様からのご負担というのも今後、考慮のほうはしていきたいと考えております。

ただ、そう言いましても、削減できるところはしなければいけませんし、経営戦略とか財政計画、こちらのほうを立てて、全体的に必要な額というのを見ながら適正な額についての判断をしていきたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○９番（東野恭行君）

今いただきました答弁で、事によってはちょっとかかってしまうのかなというところなんですけども、また大切に使いながら維持してく、延命してくということ、本当に大切だなと思えます。

(1)の質問の中で、レーダーによる地中の専門的な調査は、糸魚川市にそのような専門的な調査ができる事業者がいっぱいあるのか。また、糸魚川市独自で、このようなレーダーの調査ができるのか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山口ガス水道局長。〔ガス水道局長 山口和美君登壇〕

○ガス水道局長（山口和美君）

レーダー調査につきましては、市内に空洞調査を行う事業者というのがございません、残念ながらございません。なので、市のほうで調査を行う場合につきましては、市外を含めましての専門業者に調査を委託するということになるかと思えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

関連してくるんですけども、レーダーによる地中の調査は、費用で一体どれぐらいかかるのか。全国的にどの市町村でもそのような調査が必要であると考えますが、糸魚川市においては、調査における十分なその財源の確保などができているのか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山口ガス水道局長。〔ガス水道局長 山口和美君登壇〕

○ガス水道局長（山口和美君）

今回の件も踏まえまして、ちょっと専門業者の方にどれぐらいだろうかというお話をお聞きしたところ、大体なんですけど1キロ当たり60万前後かなというお話を聞いてはおります。

この調査を行うための費用の確保については、現在のところは確保ができると言い方もあれなんですけど、下水道においては一般会計からの繰出しを入れる中で対応しております。ですので、先ほどの答弁と重なるんですけども、全体的な額というのを見ながらの判断というのが必要になってくるかと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

インフラ整備のための財源確保も肝要であると考えておりますが、市民にとって安心・安全のための技術力の確保も大切なことだと考えております。今後も調査・研究をよろしくお願いしたいと思います。

続いて、3番目の重大事故が発生する可能性があるとお考えかというところの再質問をさせていただきます。

糸魚川市の公式LINEの防災メニューから道路通報をタップすると、道路損傷等通報システムの入力フォームにつながりますが、このLINEの通報システムですが、年間どのくらいの利用頻

度があるのか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えいたします。

今ほどお話ありました道路損傷等通報システムの件につきましては、今年度はですね、本日現在で52件の通報を受け付けております。また、当システムにつきましては、令和3年の11月から運用を開始しておりまして、これまでの間、総件数が135件ありまして、年平均で言いますと約34件のご利用をいただいております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

そのLINEの通報に限らずですね、糸魚川市において、下水道管や雨水管の老朽化により陥没した通報の実例は、今までにあったか伺いたいと思います。その際、大きな事故につながらず、現在も対応がしっかりできているか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山口ガス水道局長。〔ガス水道局長 山口和美君登壇〕

○ガス水道局長（山口和美君）

下水道におきましての話をさせてもらうんですが、管路の損傷に伴います通報については、今のところございません。

ただ、実例といたしまして、昨日も松尾議員のご質問に対しての答弁させていただいたんですが、陥没には至らなかったんですが、令和2年度と3年度にコンクリート管の腐食によります污水管が破損いたしまして、汚水が流れたという事故がございました。そのときは、すぐに応急対応を行いまして、復旧しております。また後日というか、その後になるんですが、破損した箇所のところは、周辺を含めまして腐食が見られたことから、令和5年度に更新の工事というものを行っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

しっかり対応していただいておりますということで安心しました。

埼玉県八潮市のような大きな事故は、糸魚川市においても全く起こらないとは言えないと考えますが、同様な事故が起こると予測される路面の前兆があるとすれば、どんなことが考えられるか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えします。

当課で毎月定期的に、道路パトロールというものを実施しておるんですけども、道路の路面の沈下とかは、陥没に発展しそうな、ひびとかが現れますと、そういったものが前兆として捉えることができますし、あと陥没現象は、突然発生することが多いため、地下の空洞を早期に発見することが重要かと思いますので、陥没を未然に防止することが重要であるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

毎月、路面の点検をしていただいているということで、さらに安心しました。

糸魚川市における老朽化した下水道や雨水管の点検、更新のピークですね、更新のピークの時期は、いつ頃と考えられているか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山口ガス水道局長。〔ガス水道局長 山口和美君登壇〕

○ガス水道局長（山口和美君）

下水道管におきまして、先ほどお答えしました法定耐用年数、こちらが50年ということで、それを超える管につきましては、令和13年から更新時期を迎えてまいります。令和18年から更新のピークを迎えることとなりますが、先ほども申し上げましたが、すぐに駄目になるというものでもございませんので、点検をしまして、適切な管理をする中で施設の延命化を図る中で計画的に対応していきたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

年明け間もなくニュースの報道で、本当に衝撃的な事故が起こったなというふうに思っておりますが、埼玉県八潮市の事故を教訓に、糸魚川市においても、下水道や雨水管の老朽化による道路陥没の危険性を注意喚起する必要があると考えますが、いかがでしょうか。現在は、大雪により消雪パイプの不動や水質の変色などの通報で、ご対応に建設課もご苦労されていると思いますが、春先、雪解けで路面が現れ、異変も見えてくることと考えます。大きな事故を未然に防ぐ意味でも、大切な点検を市民の皆様にも協力していただく必要があると考えます。昨日あたりも建設課のほうに路面の乱れがあつて、その日に即日対応していただいたという経過もありますので、このように考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

今ほどご提言のほう、ありがとうございました。やはり今回の大雪で、やっぱり路面とかあと消雪パイプの破損というのも多くありまして、現場対応、その都度、実施してるところでございます。今ほどお話ありましたとおり、春先の雪解け後に道路パトロールのほうを実施させていただきまして、路面の損傷状況というのを再度確認させていただきたいと思っておりますけども、より詳細な点検といいますか、を行うためにも、今ほどお話ありましたとおり、現地が一番分かる地元の皆様からご協力いただきまして、事故等の未然防止のために迅速な対応をつなげていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

LINEといった、そういった便利なツールを使って通報するシステムもあるんですけども、また、事故を教訓に、糸魚川市においてもしっかりと注意喚起していただけたら、このように思います。

4つ目の質問でございます。責任の所在ということで、再質問させていただきたいと思います。

2024年1月1日に起こった能登半島地震における液状化現象、糸魚川市内でも道路が陥没し、建物が傾くなど甚大な被害があったと考えますが、これらは老朽化と違い、自然災害による被害であります。これらの調査結果や改善策、糸魚川市における方向性は、あれから見いだされたのか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えいたします。

液状化現象に関しましては、現在、国土交通省さんのほうのご協力を得まして、液状化の災害の再発防止に向けた対策調査というものを実施しておるところでございます。現在、液状化の調査結果から、関係機関と対策工法等の検討を進めておるところでございます。今後、被害に遭われた地元の皆様を対象に報告会のほうを計画する予定で進めているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

また報告会をしていただくということなんですけども、液状化現象により被害を受けた住民の皆さんにとっては、その報告の内容もさることながら、安心して住んでいけるのかということが大事になってくると思うんですが、どういった報告がなされるのかちょっと気になるので、教えていただければというふうに思うんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えします。

今ほど国土交通省さんのほうから、結果といいますか調査のほうをまとめさせていただいて、液化化のエリアといいますか、その範囲内の方に今後はどのようなことをやればいいのかとか、ちょっとまだ詳細は未定なんですけども、方向が決まりましたら、対象の方に逐一、説明のほうをさせていただく予定でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

本当に気になるのは、しっかりと援助していただけるのかとか、そういった内容になってくると思います。本当に地震が起こってから1年以上経過しておりまして、そういった中で、そういう対応をしていただくことを大変感謝申し上げたいんですけども、本当に心苦しく、本当に大丈夫なのかという、そういった気持ちで生活されていることと思いますので、できるだけ早く対応のほうをお願いしたいと思います。

続きまして、4番の再質問でございます。

私道に埋設されている下水道や雨水管の老朽化による陥没事故の責任の所在は、どうなってくるのか、回答はいただいておりますが、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山口ガス水道局長。〔ガス水道局長 山口和美君登壇〕

○ガス水道局長（山口和美君）

下水道管の施設につきましては、市の所有のものとなっておりますので、老朽化による陥没等の責任というのは、当然、管理者である市となっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

私が住んでいる区もそういった私道が多いもんですから、大変気になったところです。ご回答いただいて、安心しておるところでございます。

大きな事故・事件が起きて初めて責任の所在が分かるという事実があると考えます。埼玉県八潮市においても、事故によって相当な混乱があったと考えます。責任の所在もさることながら、未然に事故を防ぐための対応が必要であると考えます。まさに糸魚川市においても、ガス、水道、下水道の事業が民間に移行、包括委託するタイミングであります。市役所、民間事業者の双方で未然に事故を防ぐための対応策を練っていただきたい、このように思いますが、米田市長、いかがでし

ようか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

やはり管理者の責任というのは、やはり1番基本だろうと思っております。その施設の所有者、そういったところがやはり責任の最大のところになると思っております。今、道路管理者ではなくて、やはり下水道を管理しておったその組織という形になるわけでありますので、幹線ということになれば今ほど局長のお答えした中であって、全体のやっぱり下水道、供用された管路という形の中での責任になっていくんだらうと思っております。当市のことは、もう1本しかないわけでございますので、当然、今の段階では糸魚川市ということになる状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山口ガス水道局長。〔ガス水道局長 山口和美君登壇〕

○ガス水道局長（山口和美君）

補足させていただきます。

官民会社のほうに移った後ということの答弁をさせていただくんですが、今考えておりますのは、市の職員を派遣という形で考えておりますので、その中で調整を取りながら、皆様に安心してお使いいただくような体制を取っていきたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

ありがとうございました。

引き続きまして、2番の（仮称）駅北子育て支援複合施設整備計画の延長について、再質問させていただきます。

（1）の部分で、駅周辺の労働者の人口の推移について、再質問させていただきます。

糸魚川市立地適正化計画におけるまちづくりの方針の中に、若者・子育て世代が快適に暮らせる中心市街地づくりと書かれておりますが、その方針に変わりはないか。その若者・子育て世代の中に就労者、労働者も含まれていると考えてよろしいのか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

議員おっしゃるとおり、計画の方針に変更はございませんし、若者・子育て世代に就労者、労働者も含まれるものと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

キターレには、インキュベーション施設のような機能を持った、僅かな金額で借りていただけるキッチンが常設されており、設置から現在までに多くの方が活用されていると思います。キターレは商店街や駅北地域に新しい人の流れをつくり、日々運営を頑張っていておるように思います。集会やイベントができるスペースにおいては、夕方になると学生が勉強するために集まっていたり、私自身も打合せなどで使わせていただくことがあります。

このような都市機能は、商店街の組織だけではつくれなかった人の流れを創出しています。働く場として、旧北越銀行跡地にも新たな雇用が創出されます。そして、近隣のDONUTS社も本町通りに来ていただいたおかげで労働者の人口は増え、駅北地域の交流人口は増加していると考えております。

その傍ら、商店街と呼ばれる組合・団体については、担い手の問題や時代の変遷によって縮小、衰退している実態があります。私もその中の一人ですが、こういった状況の中、駅周辺の付加価値を上げていくには、現在頑張っておられる各商店や商店街の力だけでは決して成り立たず、創造し続けていくことが難しくなっているように考えます。

こういった状況を踏まえながら、これから駅北地域におけるまちづくりを、これから市役所はどのように関わり、どのように創造していこうとお考えになっているか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

拠点施設の整備や企業の立地によりまして、目的を持った方が駅北地域に集まるといったことが大事だと思っております。そういった方をターゲットに、そういった方が生み出すニーズに対して対応できる商店街のプレーヤーですね、こういったものを、例えばキターレのインキュベーション施設を卒業された方が立地するですとか、そういったことを続けていくことが大事だと思っております。それによって町の活気が生まれて、かつての駅北地域の復興がなされるものだというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

今ほど内山課長おっしゃられたとおり、本当に私も商売を続けていくことすごく大変で、やっぱり根気強く続けていくことが大切と思っておりますので、またご支援いただければというふうに思います。

現在の商店街においては、商店の数も年々減っており、昔のようにお客様がたくさん交流する状

況をつくるのは、なかなか難しいものと考えております。労働者、就労者が増えて、その地域の交流人口が増えている状況は、客観的に見ると、にぎわいとして活性している状況が分かりにくく、評価されにくいですが、私は、中心市街地におけるこの労働者が増えているということは、すばらしい成果であると考えております。復興に向けて設置した、糸魚川市駅北復興まちづくり推進本部、これは平成29年6月に設置されております。その取組から、現在の商工観光課の取組のおかげで今があると思っております。感謝申し上げます。

続いて、（2）番の質問に入らせていただきます。

実質、事業実施は困難であるかということで再質問です。

今定例会、総務文教常任委員会の審査項目、繰越明許費の変更で、駅北子育て支援複合施設整備事業の補正予算が計上されていることで、計画の延長が認められたことを確信しましたが、今後は委員会審査において慎重審議をお願いしたいと考えております。

しかしながら、度重なる計画の延長によって苦勞して獲得した都市構造再編集中支援補助金が、ふいにならないか大変心配しておりました。今後、米田市政から新しい市政の下、運営が変わる限り、再度計画の延長も考えられますが、その計画延長の想定は、されているか伺いたいと思います。つまり、令和11年4月以降の計画の延長が認められるとお考えか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔教育委員会こども課長 室橋淳次君登壇〕

○教育委員会こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

先ほど市長答弁のとおり、今回協議をさせていただいた計画延長につきましては、今内諾をいただいて、認められる見通しというふうになっております。

今議員ご質問の、再度のまた計画延長が認められるかどうかということに関しましては、留意すべき点といたしまして、今回、国の補助の都市構造再編集中支援事業につきましては、その交付要綱で、交付期間をおおむね3年から5年というふうに定められております。当市につきましては、今、これまで5年の計画期間だったものを今1年延ばすような形で6年という形になっておりますので、そういったところも考慮しますと、これから再度の計画延長というのはなかなか厳しいのではないかというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

なぜこんな質問をさせていただいたのかといいますと、計画を進めるに当たり、解体の入札の度重なる不調により、計画そのものの内容について、十分な議論がされていなかったと危惧しているからであります。

私は、この計画が、子育て世代のニーズに応えるためだけの計画とは思っておりません。計画には、複合施設とも名前がついており、糸魚川駅周辺の多世代が利用できる都市機能を充実させるた

め、持続可能なまちづくりのための大切な計画であると考えております。市所有の塩漬けの土地、建物をそのまま何年も放置することだけは避けていただきたい、このように思っております。担当各位におかれましては強い気持ちを持って計画を遂行していただきたい、このように思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔教育委員会こども課長 室橋淳次君登壇〕

○教育委員会こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

この施設につきましては、議員おっしゃるとおり子育て世代だけではなくて多世代が集い、交流できる居場所として今計画し、整備を進めているところでございます。長い間計画をされてきた施設でもございますので、今後も様々なご意見を聞きながら、しっかりと整備のほうは進めてまいりたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

3番目の質問に関して、再質問させていただきます。

市が駅周辺に土地を取得し、都市機能を設置する。これから10年先を見ても、今回が最初で最後のチャンスじゃないかなというふうに考えております。計画の延長を繰り返し、工期が当初の予定より延びておりますが、糸魚川市立地適正化計画、駅北復興まちづくり計画、それぞれに拠点整備、都市機能整備の計画が盛り込まれており、現在までの労力とかなりの時間を費やしてきたと考えます。この計画を実行することで、駅北地域がどのように変化していくと想定されておるか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

先ほども回答させていただきましたけども、駅北地域に目的を持った方々が集まることによりまして、新たなニーズが生まれて、それに対する商売やサービスが生まれてくるといったことで、街に活気が生まれて、若者・子育て世代が住みやすいまちづくりが実現できるというところに変化していくものというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

本当に今働く人が徐々に増えてきておりまして、そういった中で、市が考える仮説の部分ですね、その部分がまだまだ、いまいち市民の皆さんに伝わってない部分があるかと思います。これから強い気持ちをしっかり市民の皆さん、地域の皆さんにお伝えしたいと思いますし、それがないと本当にどんなまちづくりをしていくんだというところが、ビジョンが見えてこないと思いますので、しっかり伝播、私も伝播していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、4番目、最後の質問の再質問に入らせていただきます。

用途変更などによる条例の変更は可能であるかということで、回答いただきました。DBO方式による契約ですと、10年間は子育て支援に資する機能で継続していかなければならないと考えますが、その運営が持続可能であるかは、本当に未知数、確かに未知数であると考えます。年間5,000万という運営費は貴く、市民の皆様からお預かりした大切な税金であると考えます。それがゆえに、これから20年先、30年先をも見据えた公共サービスで運営していかなければならないと思っております。子育て支援複合施設を造る前から、市役所の立場で、仮のお話はできないと思いますが、将来を預かる決議をするからには、状況の変化にもしっかりと適応していかなければならないと考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔教育委員会こども課長 室橋淳次君登壇〕

○教育委員会こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今計画しております施設につきましては、10年間の運営ということで子育てを中心とはしておりますが、子育て世代に限らず、他世代の交流をというところで計画しておりまして、しっかりと10年間、そういった多くの市民の皆様からご利用いただける施設となるように努めていきたいというふうにまずは考えておりますが、一方では、議員おっしゃるとおり、状況の変化等も将来的に推測される部分もあるかと思います。これは、この施設に限ったことではなくて、市のほかの施設でも同様かとは思っておりますので、同じような形でその用途が明らかに変わってくるような部分があれば、検討していく余地はあるんじゃないかなというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

まだ本当に建てれるかどうかというところもはっきり言って分からない状況でございますが、審査では、決議しております。そういった責任も私も感じながら、お話しさせていただいておりますが、10年後本当にどういった世の中になっているのかというのは誰にも分からないことではございますが、しっかり時代に適応した対応策を考えながら運営していければなというふうに考えております。

最後になりますが、米田市長、市議として18年間、市長として20年間、市政運営、大変お疲れさまでございました。そして、誕生日おめでとうございます。

私が、直接関われたのは8年間と僅かな時間でありましたが、心より感謝申し上げます。

過去に、ある人生の先輩より、関わる相手に感謝をすることはもちろん大事だが、関わる相手に感謝される人物になってくださいとアドバイスをいただいたことがあります。これからも、市民の皆様からいただく要望や願いをしっかりと聞き、それらをかなえ、感謝される会派であり、その一員でありたいと思っております。

米田市長は、4月以降もういらっしゃらないですが、感謝されるお仕事ができるよう、私も、また戻ってきたいと思います。ありがとうございました。

以上で、私の一般質問を終わります。

○議長（保坂 悟君）

以上で、東野議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

関連質問なしと認めます。

ここで、暫時休憩いたします。

再開を11時5分といたします。

〈午前10時55分 休憩〉

〈午前11時05分 開議〉

○議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。〔7番 渡辺栄一君登壇〕

○7番（渡辺栄一君）

おはようございます。渡辺栄一でございます。

これからも、糸魚川市内での暮らしやすさ、住みやすさを思い描きながら、市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し活動することで、当市の翠の交流都市、さわやか、すこやか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。よろしく願いいたします。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、（仮称）駅北子育て支援複合施設整備の状況について。

糸魚川市は、（仮称）「駅北子育て支援複合施設」の整備計画期間の延長を検討することを決めた。同施設の建設予定地に建つ旧東北電力ビルの解体工事の入札不調が5回続き、令和10年4月の供用開始を目指していたが、1年先の同11年4月に延ばして整備スケジュールの見直しを行う